

令和7年産

大崎稲作情報 第8号

令和7年9月16日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

今後の管理のポイント

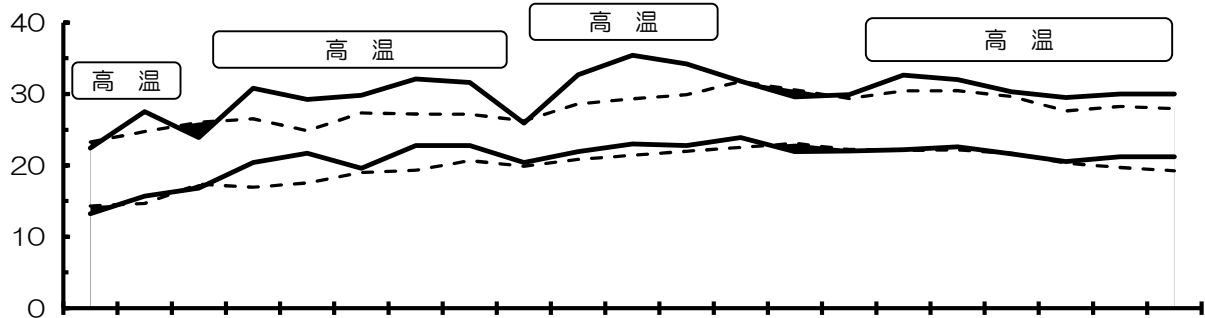
- 「ひとめぼれ」「ササニシキ」等中生品種の大半がすでに刈取適期を迎えています。
- 倒伏しているほ場は、気温が高く穂発芽が進みやすいので、速やかに刈取りましょう。
- 晩生の「みやこがねもち」、「つや姫」や直播水稻も早めに刈取りましょう。
- 「金のいぶき」は、籾が黄色に稔実していれば、穂軸が青くても早めに刈取りましょう。

1 気象経過と生育概況

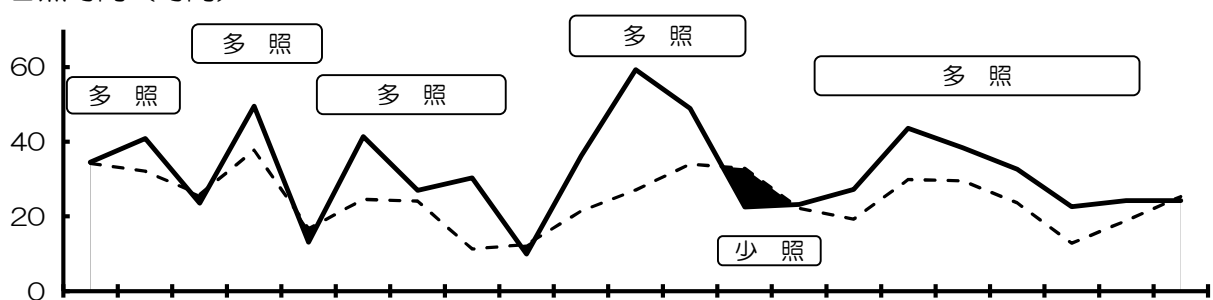
(1) 気象経過（前5か年間平均値との比較）

気温は引き続き高く推移しています。日照時間も8月第1半旬を除き9月第2半旬まで多い状態が続いています。降水量は8月第4、5半旬は少なかったものの、9月第1～3半旬は多くなりました。8月14日以前に出穂したほ場では、出穂後20日間の平均気温が高温登熟障害の目安（26℃）を超えました。

最高・最低気温（℃）



日照時間（時間）



降水量（mm）

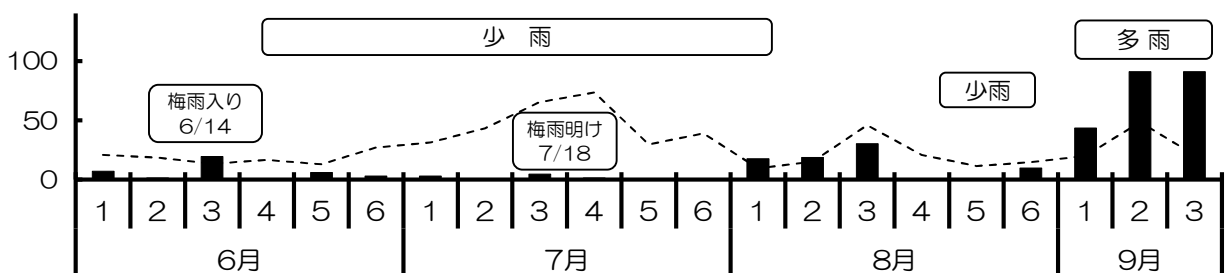


図1 6月第1半旬～9月第3半旬（古川） ※前5か年平均値との比較。

(2) 生育概況

稈長・穂長は平年（直近5か年平均）より長くなっています。穂数はひとめぼれで多く、籾数はひとめぼれ・ササニシキとも多くなっています。㎡当たり籾数は平年並～多めとなっています。乾田直播栽培のササニシキは前作大豆後で㎡あたり穂数がかなり多くなっています。移植・直播栽培とも生育量の大きいほ場は9月上旬の降雨により倒伏が進んでおり、一部のほ場では穂発芽も確認されています。

表1 生育調査結果（出穂後25日調査）

栽培様式	品種名	地区名	前作	田植日 播種日 月/日 (平年差)	出穂期 月/日 (平年差)	穂揃期	出穂後25日					
						葉色 GM (平年差)	稈長 (平年比)	穂長 (平年比)	1穂籾数 (平年比)	㎡当穂数 (平年比)	㎡当籾数 ×100粒 (平年比)	GM (平年差)
移植	ひとめぼれ	三本木	水稻	5/5 (+1)	7/27 (-3)	32.1 (+1.1)	94.1 (111%)	18.6 (103%)	68.5 (109%)	566 (123%)	388 (134%)	31.2 (+3.2)
		小野田	水稻	5/21 (+4)	8/3 (-2)	37.9 (+3.9)	93.9 (108%)	20.3 (107%)	97.6 (136%)	305 (69%)	298 (93%)	35.2 (+3.2)
	ササニシキ	古川	水稻	5/6 (-2)	7/28 (-4)	33.5 (-1.5)	89.7 (104%)	18.3 (96%)	75.1 (92%)	493 (108%)	370 (99%)	30.1 (-1.9)
	平均			5/10 (+1)	7/29 (-3)	34.5 (+1.2)	92.6 (108%)	19.1 (102%)	80.4 (112%)	455 (100%)	352 (109%)	32.2 (+1.5)
乾田直播	ササニシキ	古川	大豆	4/28	8/9	36.8	86.3	16.7	65.7	655	430	34.5
		三本木	大豆	4/10	8/2	41.0	82.2	18.1	87.0	676	588	39.0
			水稻	4/10	8/3	33.9	85.3	18.9	95.7	467	447	30.4
	ふくひびき	色麻	大豆	4/22	7/31	35.5	83.4	20.7	97.6	431	298	36.2

※田植日・出穂日の+は遅いことを、-は早いことを示す。乾田直播はいずれもグレーンドリル鎮圧方式による。

2 適期刈取について

【積算平均気温による判定】

出穂期後の毎日の平均気温を積算して判定します。表2の品種別の積算気温において、刈取早限は適期始期、刈取晩限は適期終期の目安となります。たとえば、「ひとめぼれ」の刈取早限は940℃、刈取晩限は1,100℃です。

8月下旬以降も高温傾向が続いたため、8月中旬頃までに収穫したほ場では940℃に到達する日数はかなり短縮しました（表3）。

ひとめぼれやササニシキなどの中生品種のほ場では、刈取適期を過ぎています。

みやこがねもち、つや姫などの晩生品種や直播栽培のほ場でも、8月6日までに収穫しているほ場では既に刈取適期に達しているため、早めに刈取りましょう。

北部平坦では8月14日以前に収穫したほ場では、収穫後20日間の平均気温が高温登熟障害の目安（26℃）を超えました。昨年と比較すると、0.4～0.9℃程度低いため、高温登熟障害による基白粒や背白粒は減少するとみられます。一方、籾数過多や倒伏したほ場では、未熟粒や乳白粒が増加する可能性があります。

表2 積算気温等による刈取適期の目安

品種名	積算気温	出穂後日数※
ひとめぼれ	940℃～1,100℃	40日～45日
まなむすめ 蔵の華	960℃～1,050℃	
ササニシキ	930℃～1,150℃	45日～50日
みやこがねもち	950℃～1,150℃	
だて正夢	1,020℃～1,060℃を目安に	50日前後
金のいぶき	1,050℃～1,150℃	50日～55日
つや姫	1,000℃～1,200℃	

※出穂後日数は過去30年の平均気温からの試算

表3 出穂期後の積算平均気温到達日（9/15以降の気温が前5か年並で推移した場合を想定）

地帯	積算気温		出穂期											備考	
			7/25	7/27	7/29	7/31	8/2	8/4	8/6	8/8	8/10	8/12	8/14		8/16
北部平坦	940℃		8/30	9/1	9/4	9/6	9/8	9/10	9/13	9/15	9/17	9/19	9/22	9/24	北部平坦 の出穂期 は7/27
	1000℃		9/2	9/4	9/6	9/8	9/11	9/13	9/15	9/18	9/20	9/22	9/25	9/28	
	1100℃		9/5	9/7	9/9	9/12	9/14	9/16	9/19	9/21	9/24	9/27	9/29	10/2	
	～940℃日数		36	36	37	37	37	37	38	38	38	38	39	39	
	出穂後 20日間 気温(℃)	本年	26.3	26.0	25.9	26.0	26.0	26.1	26.0	25.9	26.1	26.1	26.2	25.9	
前年		26.7	26.9	26.9	26.9	26.8	26.9	26.7	26.7	26.6	26.5	26.1	25.8		
西部丘陵	940℃		8/31	9/2	9/4	9/7	9/9	9/11	9/14	9/16	9/18	9/20	9/23	9/26	西部丘陵 の出穂期 は7/28
	1000℃		9/2	9/5	9/7	9/9	9/11	9/14	9/16	9/19	9/21	9/24	9/26	9/29	
	1100℃		9/6	9/8	9/10	9/13	9/15	9/18	9/20	9/23	9/25	9/28	10/1	10/4	
	～940℃日数		37	37	37	38	38	38	39	39	39	39	40	41	
	出穂後 20日間 気温(℃)	本年	25.9	25.6	25.5	25.7	25.7	25.7	25.5	25.5	25.7	25.7	25.8	25.5	
前年		25.9	26.2	26.3	26.3	26.3	26.4	26.2	26.2	26.1	26.0	25.6	25.2		

注1) 北部平坦は古川、西部丘陵は川渡のアメダスデータ使用。 9/14までは令和7年の値、9/15以降は前5か年平均値。
注2) 出穂期後の積算平均気温到達推定日は、出穂期翌日から積算平均気温が940、1000、1100℃を超えた日とした。
注3) 「～940℃日数」は出穂後の積算平均気温が940℃に到達するまでの日数。
注4) 「出穂後20日気温」は、出穂後20日間の日平均気温の平均値。26℃以上（太字部分）では白未熟粒の発生が増加する。

【穂発芽粒の低減】

穂発芽のし易さは品種によって異なり、「金のいぶき」、「みやこがねもち」、「ササニシキ」、「つや姫」は「ひとめぼれ」よりも穂発芽しやすい特徴があります（表4）。

また、倒伏したほ場や生育量が多いほ場では籾周辺の湿度が高まり、穂発芽しやすくなります（図2）。

1か月予報では今後も「気温が高くなる見込み」となっているため、「ひとめぼれ」などの中生品種で刈取晩限を過ぎたほ場は早急に刈取るとともに、晩生品種の「みやこがねもち」や「つや姫」、直播栽培のほ場も刈取適期内に刈取りましょう。

「金のいぶき」は通常、ある程度不稔が生じますが、稈実籾が黄色であれば、穂軸が青くても早めに刈取りましょう。

なびきや倒伏などで、局所的に穂発芽粒が多いところは刈分けしましょう。

表4 優良品種の穂発芽性

	3 易	4 やや易	5 中	6 やや難	7 難
極早生 ・早生	ヒメノモチ				やまのしずく ゆきむすび
中生	ササニシキ トヨニシキ		たきたて 金のいぶき	蔵の華 だて正夢	ひとめぼれ まなむすめ 東北194号 げんきまる
晩生・ 極晩生	みやこがねもち		つや姫	こもちまる	コシヒカリ



図2 倒伏した「ひとめぼれ」の穂発芽

適正な乾燥・調製に努めましょう。
乾燥・調製のポイントは「大崎稲作情報第7号」を参照願います。

◆◆◆◆◆秋の農作業安全確認運動実施中（9月1日～11月30日）◆◆◆◆◆
農業機械作業による死亡事故割合が高い状況を踏まえ、①ほ場周辺の危険箇所の確認・改善及び危険回避行動の実践、②シートベルトとヘルメットの着用、③トラクターへの安全フレーム・安全キャブの使用の呼びかけを行います。

スローガン 【徹底しよう！農業機械の転落・防止対策】

東北地方 1 か月予報

（9月12日から10月12日までの天候見通し）

令和7年9月11日

仙台管区气象台発表（抜粋）

<予報のポイント>

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。平均気温は、高い確率70%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	10	80
【降水量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北地方	30	40	30
<気温経過の各階級の確率（%）>		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	10	80
2 週 目	東北地方	10	20	70
3～4週目	東北地方	10	20	70

★★

古川農試に設置されている生育モニタリングほ場（「だて正夢」・「金のいぶき」・直播栽培）や県内全体の水稻生育情報はこちらからご覧いただけます。

<<https://www.pref.miyagi.jp/site/seikuzuyoho/index.html>>

★★



「大崎地域の稲作技術情報」、「大崎地域の大豆作技術情報」、「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右のQRコードを読み取ってください。

